

うとない

Vol.446 2025.7

ブログ移転と 広報誌の役割について

社会医療法人こぶしが使用しているgoo blogのサービスが閉鎖となるのを受けて、ブログが「note（ノート）」へと引越しをする事となりました。今回はブログ移転についてと情報発信としての広報誌の役割について報告いたします。

QRコード

社会医療法人こぶしnote



社会医療法人こぶし



うとない・まりもちゃん
配信ページ



1. ブログの移転について

社会医療法人こぶしのブログは2018年8月5日地域移行支援チームのブログを引き継ぐ形でスタート。コロナ前のことになりますが毎日一投稿を目指していた時期もあり、院内で行われているリハビリ活動の様子を写真と共に載せたり、スタッフの研修報告やサテライトの情報を発信したりなどしてきました。これまで長年使用していたgoo blogのサービスが11月18日に閉鎖されることとなり、今後ブログは「note（ノート）」に移転します。note とは自分が作成した文章や画像、動画などを投稿することができるプラットフォームで、様々なコンテンツを簡単に公開できるサービスです。移転後も、今まで同様に文章と写真の投稿を通して私たちの活動を発信していく予定です。引き続きご愛読をよろしくお願いいたします。

【移転のスケジュール】

現在はgoo blogとnoteの両方で投稿となっておりますが、goo blogでの新規記事・コメントの投稿は10月1日までとなっております、閲覧は11月18日までとなります。

【noteのURLとアクセス方法】

noteのURLは以下の通りです。

【新URL】<https://新しいドメイン名.com>

※goo blogをブックマークやお気に入りに登録されている場合は、新URLへの更新をお願いいたします。

2. 広報誌の役割

現在の広報「うとない」の始まりは1988年6月に発行された「ニュースうえなえ」です。創刊当時は有志の患者さん達と精神保健福祉士が編集に携わり、主に入院中の患者さんに向けた情報がメインでした。その後患者さん達が退院して精神保健福祉士が編集をするようになってからは病院の広報誌として、社会医療法人こぶしを利用されている方や地域の皆様に直接、継続的に情報を届けるといった役割に変化していきました。今でこそ編集にはパソコンを使っていますが「ニュースうえなえ」はモノクロのB4版の縦書きで当初は手書き（！）、そしてワープロを駆使して編集という時代も長く続きました。2006年6月現在も続くフルカラーの誌面となったのをきっかけに名称も「うえなえ」にかわり、病院移転後からは現在の「うとない」になっています。

広報誌は情報発信だけでなく、意見やフィードバックを受け取る窓口としても機能しており、読者の声を反映させることで、新たなアイデアの創出につながるのではないかと考えています。広報委員会では近年の省資源化とデジタル環境への移行を鑑みて2025年4月から「うとない」の発行部数を減らしていますが、毎月10日に更新の予定ですのでホームページをチェックしていただけますと幸いです。



精神科医の 育休日記

精神科医 川並 剛

第4回 「続・子どもの何までなら口に入っても大丈夫か」

前回同様、汚いものが苦手な人は飛ばしてください…。前回に続き…まず食べこぼしやペッと出した物、赤ちゃんは時に私の口に突っ込むのですが特に嫌ではなく、（もうそんなことはしない）幼稚園でうん…。次に「鼻水（鼻くそ）」、赤ちゃんの鼻づまりを私（だけ）は口で吸いペッとしますが（鼻吸い器があればもちろん使います）、幼稚園生の「くしゃみ」がかかるとくわっ！>と思うけど…？そしておしっこ、「よちよち」の時に顔にかかったが大丈夫だったけど、大きい子だと顔の被害はなく、他も洗えれば大丈夫。最後に「うんち」…赤ちゃんの（身を寄せ繊細に扱う）綿棒浣腸…「ぶぶーっ！」とジェット噴射かはたまた散弾か、顔にかけられ数的口に入ることもあるけれども妻曰くそこまで自分は嫌がってないと。でも「大人のうんち」に近づくと、自分につくのは構わない…が、子どもの手や周りにつこうものならくああー>となるし、ましてや口に入ろうものなら…。というわけで、胃に入る「食べ物や鼻水（飛沫に限る）」は「自分の子」ならまだいいが、「体から出ていくうんちやおしっこ、鼻くそ（これは食べ物ではないだろう）」は「自分の子」でも口に入るのは勘弁…なので、<鼻水が口に入っても汚くない>が自分の限界だろう。とても汚い記事、すいません。

Dr. 望月の日々雑感

例の様に締め切りを過ぎてても、何も思いつかない。新聞を見ていたらこんな記事があったので紹介したい。

暦のうえでは季節は夏だが、すきっとした天候には程遠い毎日が続いている。いずれ暑い暑いと文句を言いながら過ごす夏が来るのだろうが。地球の天気がおかしくなっているというニュースを見ることもある。地球の全体の天候がひどくなると、以前から訴えたえていたひともいた。人間のせいなのか、地球の変化や人間のせいかはよくわからないが。いずれにしても地球上では、生き物にとって楽に暮らせる時が来るとは誰も思えないようである。地球で暮らすしかない人間は、生死を自らの地球の訴を聞きながら、生き延びる方法を考えるしかないだろう。生か死かは人間たちにかかっていると記事を締めくくっていた。今のうちに、子孫が生き延びるように、地球全体が考えないといけないと、その記事は訴えていた。



精神科医 田中 尚朗

第27回 駅探訪 ウェイクフィールド駅

みなさんこんにちは。先月は都合により休載させていただきましたが、また元気に連載を続けていきたいと思ひます。ボストンも夏となり、大勢の観光客がやってくるシーズンとなりました。政情不安定な状況が続いていますが、7月4日独立記念日の花火も例年通り行われたようです。

さて今回は、前回紹介したグリーンウッド駅からさらに北に進んで、ウェイクフィールド駅を訪れたいと思ひます。ウェイクフィールドの中心街に近い駅です。前回まで取り上げてきた駅と同様、ボストン・アンド・メイン鉄道が開通した1845年に開業、その後1889年に2代目の駅舎が建てられました。この駅舎は現在も残っており、駅の装いに彩りを与えています。駅としては営業していませんが、商店やオフィスが入居しています。2面2線のホームはそれほど長くはなく、駅舎があるのは上り方向(ボストン行き)の側です。2線のあいだはフェンスで区切られており、上下ホームの間を駅構内で行き来することはできないようになっています。

ウェイクフィールドは1638年にヨーロッパからの移住者が入った町で、当初は隣のレディングの一部でしたが1812年にサウス・レディングとして独立、1868年に現在の町名に変更しています。かつてここから2本の枝線が分岐しており、ハブ駅としての機能もありました。1893年には町内に6つもの駅があり、1日60本もの列車が走っていたと言ひます。しかし、現在残っているのは前回のグリーンウッド駅と当駅の2駅だけです。もうひとつ、センター・ディーポという駅は駅舎だけが残り、現在はお店として使われています。

街には19世紀後半から20世紀初頭に建てられた家が多く残り、全体として静かな雰囲気です。会衆派教会(1892年)、ユニバーサリスト教会(1839年)、公共図書館(1923年)などは、国の歴史的建造物として指定されています。



北大演習林(研究林)の小さな沼のほとりに立つ数本のズミの木がある。毎年6月初旬に白い花を咲かせる。さくらやりんごに似た小さな花々があふれるように枝垂れて花開く。水面にも映るその姿は純白のウェディングドレスを纏った人のように美しい。対岸からこころ奪われて見入る。花は数日で散ってしまうので短い逢瀬となる。植苗病院が開院して間もない頃、入院している高齢の方々とはバスレクでこの演習林を訪れたことがある。鳥の声やせせらぎの音を聞きながら、手を携え、車椅子を押して散策した。疲れて芝生に寛いでいたら「そこは立ち入り禁止ですよ」と職員の人から咎められて、慌ててバスに戻った。昨日のここのように思い出される。あれから30年以上の月日が流れ、植苗病院はウトナイ病院として新たなスタートをした。

この間、さまざまなことがあった。そしてたくさんの人々が遠くに旅立った。ズミの木は大きく育った。静かに森に立ち続け、毎年豊かな花を咲かせている。その前に佇んで過去と未来、変わらないものと変っていくものに想ひを馳せる。そして、未来が短くなった自分に何ができるか考える。今を大切に、生きて生き延びて、また、ズミに会いにこようと思ひます。

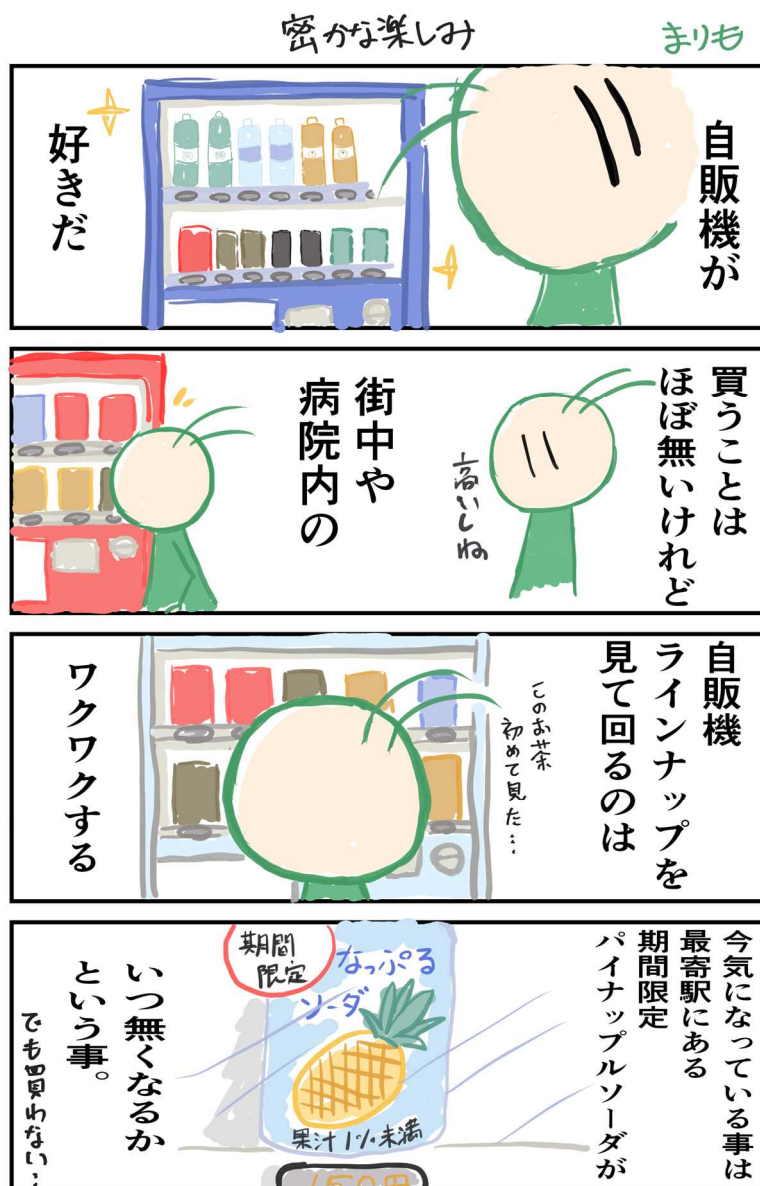
(M.K)

お 知 ら せ

◆ 入院中の方へ手続きのお願い ◆

入院時食事代標準負担額の減額認定及び入院医療費の限度額適用認定、国民健康保険証、後期高齢者医療被保険者証、ひとり親・障害受給者証の有効期限が7月31日までとなっておりますので、**8月中**に各市町村などの窓口で手続きをしていただき、新しい認定証をウトナイ病院事務に提出していただけますようお願い致します。

ご不明な点がございましたら各市町村などの窓口又はウトナイ病院医事課までお問い合わせ下さい。



発行

社会医療法人こぶし広報委員会
苫小牧市ウトナイ南2丁目1-8

TEL:0144-84-5561

http://www.uenae-hp.or.jp/



ミニトマトと青じそ

〈後記〉

道外の人には叱られそうですが北海道らしくない暑さでバテ気味です。エアコンはもちろん扇風機もない我が家。これまではウチワでなんとか乗り切っていましたが、そろそろ扇風機購入を検討しなければいけなさそうです。(H)